



家の寿命を延ばす築10年目リフォーム!

築10年目はこれから先の家の寿命・費用を決める分岐点です。木造住宅の平均立替年数は約30年ですが定期的なメンテナンス&リフォームで70~80年以上は十分に住み続けることが可能です。

外壁のモルタルの塗膜やサイディングの目地の耐用年数は約10年。その年数がすぎたままにしておくと一緒に劣化が進みます。

10年目のリフォーム&点検を行わなかった場合劣化が進んでしまい20年目の補修時に余分な手間がかかり費用に数百万円の差がつく場合も!



築10年目でやっておきたい 外回りのリフォーム

- 外壁のモルタルの再塗装
- サイディングの目地の再シーリング
- サッシまわりの再シーリング
- 屋根の点検・メンテナンスもしくは塗装
- 防蟻工事 (5年毎)
- パルコニーや屋上の防水工事
- 屋外木部、鉄部の再塗装・補修
- シャッター機器部のオーバーホールなど

築10年目でやっておきたい 内部のリフォーム

- キッチンのコンロのメンテナンス・交換
- 給湯器のメンテナンス・交換
- 換気扇類のメンテナンス・交換
- 食器洗い機のメンテナンス・交換
- 浴室の再シーリング
- サッシの戸車やクレセント鍵の点検・交換
- 玄関ドアの蝶番や鍵の再調整・交換
- 室内ドアの再調整など

※上記の他にも異音や水漏れをみつけたらすぐにメンテナンスか交換をしましょう!

リフォームのための積立貯金をしておこう!



家は建った瞬間から劣化が始まります。大事な財産を守るためにも点検・メンテナンス&リフォームの費用としての貯金をしておくことをおすすめします!

お客様のご要望にそって自由なリフォームプランのお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談下さい。